

【研究】令和6年度岐阜県私立大学地方創生推進事業 ～DXで実現する地域のデジタル人材育成事業～

【目的】

地域産業や地域社会を担う人材確保のため、デジタル・グリーン等成長分野に関するリスキリングを推進する、このためにリスキリング教育のための「Multi Campus One Digital University」を新たに構築し、地域人材の育成カリキュラムを開発し実践する。

【事業内容】

産業界や社会のニーズを満たすリスキング教育プログラムの開発・提供を行い、社会人のスキルアップやキャリアアップ、キャリアチェンジを後押しする。本リスキング教育プログラムのコンセプトとして、時代の潮流に即した最先端で、各分野において最先端の知見を有する講師により、スキル修得を目指したコンテンツを活用し、いつでもどこでも学習できる環境であるオンデマンドな学習環境を構築する。
○令和6年度、リスキリング教育プログラムとして開発する内容は以下の通りである。

① AI人材の養成（担当：大学院）

超スマート社会（Society 5.0）の実現に向け、AIを活用して社会課題を解決し、新たな価値を創造できる人材の活躍が期待されている。世界的にAI人材不足が深刻化するなか、各企業の間で優秀なAI人材の争奪戦が行われており、AI人材育成に対するニーズが高まっている。ここでは、次のような内容でAI人材育成を行う。

（対象） 企業の管理職並びにAIにより業務の改善を計画している企業の担当者

② デジタルアーキビストの養成（担当：デジタルアーカイブ専攻）

デジタルアーキビストとは、文化・産業資源等の対象を理解し、著作権・肖像権・プライバシー等の権利処理を行い、デジタル化の知識と技能を持ち、収集・管理・保護・活用・創造を担当できる人材のことをいう。ここでは、デジタルアーキビスト資格と絡め知的財産人材の育成を行う。

(対象) 企業の知的財産権の管理担当

③ 学校DX戦略コーディネータの養成(担当:大学院)

学校DX戦略コーディネータは、学校や教育機関においてデジタルトランスフォーメーション(DX)戦略の計画、実施、および評価をし、効果的に推進する役割を担う専門家を育成する。

(対象) 学校における情報化担当(教員免許の1種から専修免への上進と組み合わせて実施)

【スケジュール】

上記の計画事業の実施内容に沿って、「Multi Campus One Digital University」を構築し、DX時代における“新たな学び”の創出により、デジタル技術を活用し、学びのあり方やカリキュラムを革新させると同時に、リスキリング文化を革新し、時代に対応したリスキリング教育システムを確立する。

スケジュール(予定)

- 5-7月 リスキリング教育カリキュラムの構築
- 8-10月 Multi Campus One Digital University の構築
- 11-12月 e-Learning コンテンツの作成
- 1-3月 「デジタルアーカイブ in 岐阜」の開催
「リスキリング講習会」の開催

DXで実現する地域のデジタル人材育成事業 リスキリング（Reskilling）2024 講習会

日 時：令和7年2月9日（日） 9：00～12：00

会 場：オンライン講座（Zoomを使用）

主 催：岐阜女子大学教育推進会議
岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所

後 援：デジタルアーキビスト資格認定機構、日本教育情報学会、デジタルアーカイブ学会(予定)

受講対象：社会人

① AI人材の養成（担当：大学院）（新規 11講座）

対面講座

| セッション | 講師名 | 所属 | 講演テーマ |
|--------------------|------|-----------------------|------------------|
| AIプロジェクト成功のために（新規） | 森 英悟 | 株式会社 Sigfoss 代表取締役 | 人工知能（AI）とは |
| | | | 人工知能分野の問題 |
| | | | 機械学習の具体的手法 |
| コーディネータ | | | 澤井 進（岐阜女子大学特任教授） |

e-Learning（オンデマンド講座）

| テーマ | 講師名 | 所属 | 講演テーマ |
|------------|------|------------|---|
| AI（人工知能）特論 | 澤井 進 | 岐阜女子大学特任教授 | AIの過去から未来へのプロローグ –『コンピュータ歴史博物館』が語るAI文化 |
| | | | 知能の迷宮を解き明かす –暗号解読とチューリングテストの謎めく挑戦 |
| | | | AI kouza 3 2 1 知識が翼を得る瞬間 –知識表現とエキスパートシステムの知の舞台裏 |
| | | | 間の脳などと深層学習の魔法 目を持ったコンピュータが見せる未知の領域 |
| | | | シンギュラリティの扉を叩け |
| | | | 機械翻訳の新時代 –トランスフォーマー革命と「生成AI」の驚異的進化 |

| | | | |
|--|------|------------|----------------------------|
| | | | A I の過去・現在・未来 - 未来への飛翔 - |
| | | | 人工知能 (AI) とデジタルアーカイブの現状と未来 |
| | | | 生成 AI と学習コンテンツ |
| | 赤堀侃司 | 東京工業大学名誉教授 | A I と人間の学び |
| | 益川弘如 | 聖心女子大学教授 | 人と AI の学習研究から考えるこれからの教育 |

② デジタルアーキビストの養成（担当：デジタルアーカイブ専攻）（新規 3 講座）

対面講座

| セッション | 講師名 | 所属 | 講演テーマ |
|---------------------|---------------|----------------------|---------------------|
| デジタルアーカイブの起源と未来（新規） | 吉見俊哉 （了解済） | 國學院大學教授・東京大 学名誉教授 | 日本にとってデジタルアーカイブとは何か |
| | 未定 | 文化庁 | デジタルアーカイブ社会と施策 |
| | 月尾嘉男 | 東京大学名誉教授 | デジタルアーカイブの起源と発展 |
| コーディネータ | | | 井上 透（岐阜女子大学教授） |

e-Learning（オンデマンド講座）

| テーマ | 講師名 | 所属 | 講演テーマ |
|-------------|-------|-------------|------------------------|
| デジタルアーカイブ概論 | 林 知代 | 岐阜女子大学 | デジタルアーカイブの基礎 |
| | 櫛 彩見 | | デジタルアーカイブ開発と活用プロセス |
| | 谷 里佐 | | デジタルアーカイブの評価とメタデータ |
| | 熊崎康文 | | デジタルアーカイブの利活用 |
| | 久世 均 | | デジタルアーカイブによる地域活性化 |
| | 加藤真由美 | | 文化はどのように記録するの？ |
| | 加藤真由美 | | デジタルデータはどのように管理・流通するの？ |
| | 吉川 晃 | | デジタルアーカイブと知的財産権（1） |
| | 坂井知志 | | デジタルアーカイブと知的財産権（2） |
| | 高野明彦 | 国立情報学研究所名誉教 | ジャパンサーチとデジタルアーカイブ活用基盤 |

| | | | |
|--|------|-------------------|----------------------|
| | | 授 | |
| | 時実象一 | 東京大学大学院情報学環 | 世界のデジタルアーカイブの発展とその活用 |
| | 福井健策 | 骨董通り法律事務所パートナー弁護士 | デジタルアーカイブと法制度の現在地点 |

③ー1 学校DX戦略コーディネータの養成（担当：大学院）（新規 3講座）

対面講座

| テーマ | 講師名 | 所属 | 講演テーマ |
|-------------|-------|---------------------|-----------------|
| 学校DX戦略とその理論 | 東原 義訓 | 信州大学名誉教授 | 学校DX戦略アドバイザーの機能 |
| | 五十嵐晶子 | 合同会社かんがえる | ICT支援員の役割と重要性 |
| | 高谷浩樹 | 文部科学省 内閣官房 内閣審議官 | 学校DX戦略に関する施策 |
| コーディネータ | | | 村瀬康一郎（岐阜女子大学教授） |

e-Learning（オンデマンド講座）

| テーマ | 講師名 | 所属 | 講演テーマ |
|--------------------|-----|--------|--------------------|
| 学校DX戦略コーディネータ概論【I】 | 久世均 | 岐阜女子大学 | 教育DX時代における新たな学び |
| | | | 21世紀に求められる学力と学習環境 |
| | | | 主体的・対話的な深い学びの実現 |
| | | | 学習目標とその明確化 |
| | | | 学習目標のデザイン |
| | | | 教えて考えさせる授業の展開 |
| | | | 協働的な学びのデザイン |
| | | | 「教えないで学べる」という新たな学び |
| | | | 遠隔授業のデザイン手法 |
| 自律的なオンライン授業の分析と設計 | | | |

| | | | |
|--|--|--|-----------------------|
| | | | 新たな学びと教育リソース |
| | | | 教育活動をデジタルアーカイブする |
| | | | 思考力を高めるための学習プロセスの反応分析 |
| | | | 高大連携による地域課題探究型学習 |
| | | | 「教える」から「学ぶ」への変革 |
| | | | |

③ー2 学校DX戦略コーディネータの養成（担当：大学院）（新規 15 講座）

e-Learning（オンデマンド講座）

| テーマ | 講師名 | 所属 | 講演テーマ | |
|------------------------|-----|-------|---------------------------------|----------------------|
| 学校DX戦略コーディネータ概論【Ⅱ】（新規） | | | 学校DX（デジタルトランスフォーメーション）の基本 概念 | |
| | | | 教育テクノロジーのトレンドと展望 | |
| | | | デジタル教育プラットフォームの導入 | |
| | | | 教育データの活用と分析 | |
| | | | デジタルリテラシーと教育 | |
| | | | 教育のカスタマイズと個別化 | |
| | | | デジタルコンテンツの制作と活用 | |
| | | | オンライン教育とリモートワーキング | |
| | | 村瀬康一郎 | 岐阜女子大学 | デジタルセキュリティとプライバシー |
| | | | | 教育ICTのインフラ整備 |
| | | 久世均 | 岐阜女子大学 | デジタル教育の評価と効果検証 |
| | | | | イノベーションとチェンジマネジメント |
| | | | | プロジェクトマネジメントとリーダーシップ |
| | | | | デジタル教育の法的規制と倫理 |
| | | | | 学校DX戦略の策定と展望 |

講師への依頼内容：

- ・ 講座の映像（50分程度）とプレゼン資料の作成
- ・ 講座の映像は YouTube(限定公開)により公開し、講座の映像コンテンツとして保存
- ・ 映像の文字お越しをし、テキストとして活用
- ・ プレゼン資料がある場合には、PDF に変換して講座の Web でコンテンツとして公開

費用負担：

| | |
|---------------|---------------------------------|
| リスキリング講座講師謝金 | @50,000 円（税込）×30 人 = 1500,000 円 |
| 講座講師旅費(東京) | @23,040 円×30 回 = 691,200 円 |
| 講師打ち合わせ旅費(東京) | @23,040 円×30 回 = 691,200 円 |

広報：

| | | |
|--------------|----------|----------------------------|
| ポスター作成 | | |
| | リスキング講習会 | @200 円×1,000 枚 = 200,000 円 |
| ポスター・案内状発送代金 | | |
| | リスキング講習会 | @120 円×1,000 枚 = 120,000 円 |